PERFORMING

ART S vol. 25

【企画・編集】 京都芸術大学 舞台芸術研究センター

テオドール・クルレンツィス+ムジカエテルナ『Plan B』/翻訳:小崎哲哉

■ FEATURE 1 →

「創造」と「批評」 のプロセスに 向き合う

[国際舞台芸術祭]は生き残ることができるか/ 相馬千秋×岩城京子×鴻英良×内野儀 司会:森山直人

創造のプロセス――「歴史」が「作品」になるとき: 『ヴォイス・オブ・ヴォイド――虚無の声』より/新井知行

言葉と映像――聞くこと、話すこと、残すこと/小森はるか+瀬尾夏美 聞き手: 森山直人

テイストレスからチューイーへ:

田村友一郎作品『テイストレス』を二度揚げする/堤拓也

アメリカという果てしない夢の終わりとその続き 中島那奈子

破局と離人のクリティック――創刊から20年を迎えて 八角聡仁

■ FEATURE 2 →

度邊守章追悼特集

渡邊守章の仕事/浅田彰×石田英敬×根岸徹郎 司会:森山直人

横顔の守章先生/ホノ下裕

開学30周年記念事業

猿翁アーカイブにみる三代目市川猿之助の世界 〈演出〉 田口章子

「忠臣蔵」も新しい演出で 石川耕士 歌舞伎の名作を新しい演出で挑む 藤間勘十郎

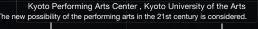
「新しい"悲劇"」を紡ぐ演出家――上田久美子『桜嵐記』が問いかけるもの/伊藤愛 リー・ブルーアのために――しなやかな前衛精神ということ/内野儀 舞踏の外、身体の内――室伏鴻と即身仏――/中島那奈子 世阿弥再見――『六義』の成立にみる世阿弥と禅竹―

エッセイ

誰がニューヨークで舞台芸術を支えているのか?-「中間支援組織」の存在/橋本裕介

「時間」と現代演劇――木村敏『偶然性の精神病理』を再読する/長澤慶太

KADOKAWA



++++